

(仮称)第2期日野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 策定支援業務委託 採点評価書

【資料1】

採点の考え方 評価点×項目評価点 = 項目別得点 全項目合計1,000点

評価の観点	評価の視点	評価点(最大)	評価点(乗数)	項目評価点
A.仕様にかかる提案内容の評価				
1. 提案内容の適切性	仕様書の趣旨・目的を的確に理解しているか 全体スケジュール・進め方が具体的で無理がないか 成果物につながる実現可能性が示されているか 社会動向、国都の動向を俯瞰した上で市の現状・状況を捉えているか (例:デジタル化、SDGs、人口動態、産業構造の変化など)	200	20	0~10
2. 手法・プロセスの創意工夫	広報支援や情報発信に独自の工夫があるか データ分析・BI活用の方法が具体的で実効性があるか 共創的なプロセス(市民・庁内・関係者の関与)を組み込んでいるか 国内外の先進事例や知見を活かした手法になっているか	150	15	0~10
3. 成果物の質の確実性	新戦略素案や概要版の完成イメージが明確か デザイン性やわかりやすさの工夫があるか 過去実績から品質の担保が期待できるか 地域の課題特性や長期的視点が反映され得るか	100	10	0~10
B.実施体制等(支援業務実施のための総合的な能力・実績など)の評価				
4. ワークショップ設計・運営力	開催回数が無理のないものか、テーマ設定が適切か ファシリテーション手法に具体性と説得力があるか 庁内・市民など多様な関係者を巻き込む仕組みがあるか 得られた意見を戦略に反映する仕掛けが示されているか	250	25	0~10
5. 実施体制・責任者の適格性	担当者・責任者の経験や専門性が業務内容に合致しているか 体制図や役割分担が明確で、実行可能に見えるか 市との協働姿勢が示されているか	200	20	0~10
C.経費等の評価				
6. 経費の妥当性	見積の根拠が合理的で透明性があるか 提案内容に照らしてコストパフォーマンスが適切か	50	5	0~10
7. 企業の信頼性	経営基盤・財務状況から継続的な履行能力があるか 広く社会動向に対する知見を有しているか	50	5	0~10
評価点総合		1,000		

【評価点について】

点 数	採点基準
10点	業務内容を的確に把握し、提案が具体的かつ現実的であり、説得性のある内容になっている。 業務内容に関する知識が豊富で、十分な経験を有している。 必要な調査分析能力を有しており、市の状況をよく理解した上での提案がなされている。 期待するレベルを超えた提案内容である。
8点	業務内容を理解し、具体的で現実的な提案である。 業務内容に関する知識を有している。 期待に応えるレベルの提案内容である。
6点	業務内容を理解しているが、提案における現実性若しくは具体性が欠けている。 業務内容に関する知識を一定程度有している。 想定範囲内の提案である。
4点	業務内容の理解が不十分であり、提案内容も具体性に欠ける。 業務内容に関する知識、経験が浅い。
2点	業務内容を理解しておらず、提案内容が本来の目的から逸脱している。 業務内容に関する知識がない
0点	項目についての記載なし、項目との関連性の無い記載。(評価ができない場合)